

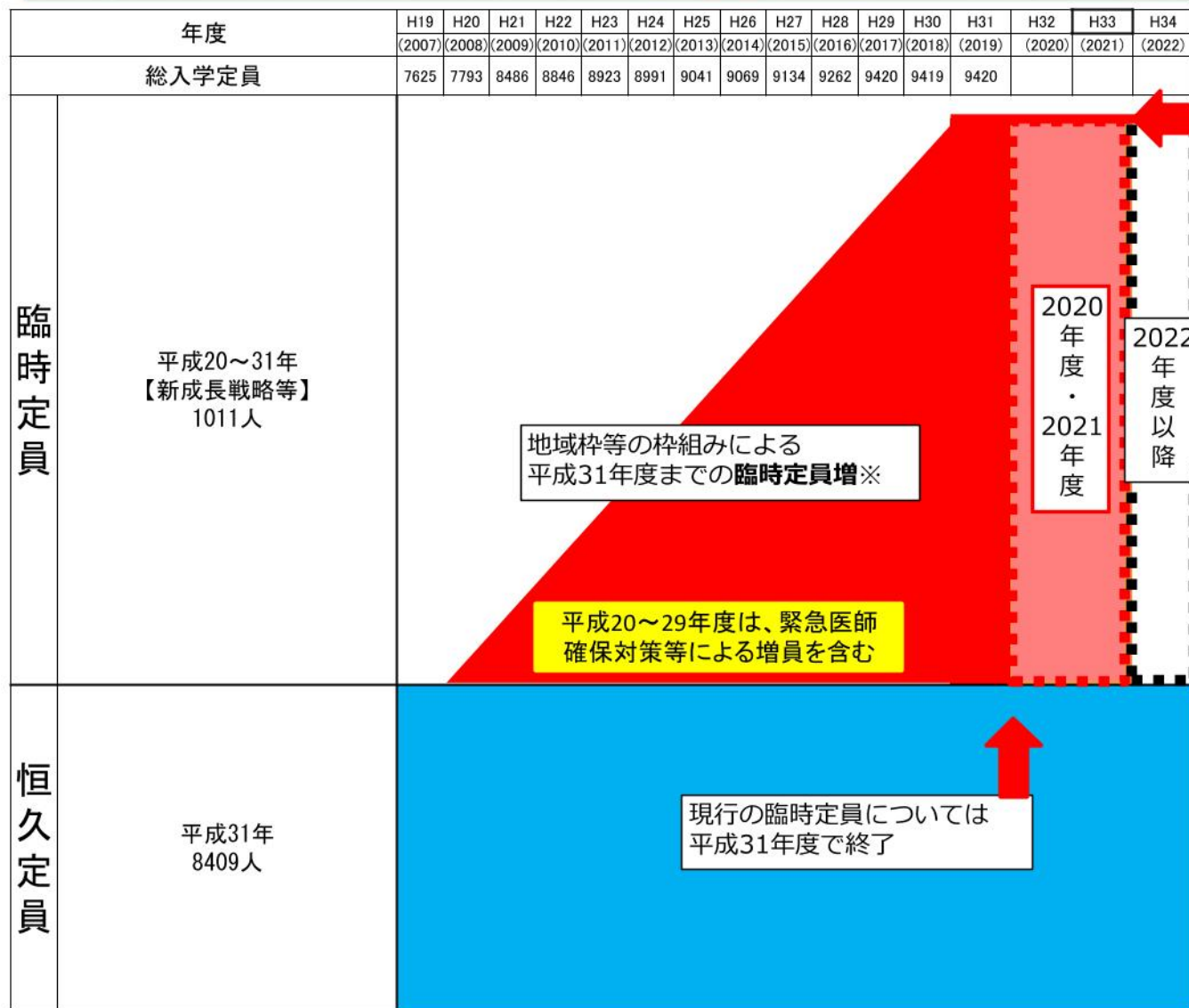
将来時点の必要医師数及び 地域枠等必要数について

都道府県の要請権限について(イメージ)

医療従事者の需給に関する検討会
第27回 医師需給分科会(平成31年1月30日)資料 一部改変

	医師が少数の県	医師が少数の県以外
医師が少数の二次医療圏のある県	○地域枠の設置・増員の要請 ○地元出身者枠の設置・増員の要請 ○地域枠(臨時定員)の設置・増員の要請	○地域枠の設置・増員の要請 × 地元出身者枠の設置・増員の要請 × 地域枠(臨時定員)の設置・増員の要請
医師が少数の二次医療圏のない県	該当なし	× 地域枠の設置・増員の要請 × 地元出身者枠の設置・増員の要請 × 地域枠(臨時定員)の設置・増員の要請

平成32年度(2020年度)以降の医師養成数について(イメージ)



○2020年度、2021年度は、暫定的に現状の医学部定員を概ね維持しつつ、トータルとして現状程度の医学部定員を超えない範囲で、各都道府県や大学等とその必要性を踏まえ調整を行う。

○2022年度以降については、医師の働き方改革に関する検討会※の結論等を踏まえ、再度検討を行うこととし、マクロの医師需給推計の前提となる医師偏在対策、勤務時間の適正化等について、再度、医師需給推計を行った上で医師養成数の方針等について見直す。

※1 【】内の閣議決定等に基づき、医学部入学定員の増員を行ってきた。地域枠に加え、研究医枠、歯学部振替枠を含む。

※2 平成29年度から31年度までの追加増員については、各都道府県からの追加増員の要望に対しては、これが本当に必要な増員であるかどうかについて、慎重に精査

※3 中間取りまとめにおいては、「平成32年度以降の医師養成数については、今回の医師需給推計の結果や、これまでの医学部定員の暫定増の効果、今回の見直しによる医師偏在対策の効果等について可能な限り早期に検証を行い、平成22年度から31年度までの暫定増の取扱いも含め、結論を得る」とされていた。

地域枠等に係る都道府県の要請権限と2022年度以降の臨時定員との関係について(イメージ)

(2022年度以降)	医師が少数の県	医師が多数・少数でない都道府県	医師が多数の県
臨時定員	・県の不足医師数に応じて地域枠の増員等を要請(県をまたいだ地域枠を含む)※ ・<u>県の養成不足数以上の</u>現行の定員数の取扱いは、今後、マクロ医師需給推計を踏まえ検討	・現行の定員数の取扱いは、今後、マクロ医師需給推計を踏まえ検討	・<u>県の養成過剰数を踏まえ、</u>現行の定員数の取扱いは、今後、マクロ医師需給推計を踏まえ検討
恒久定員	・県の不足医師数に応じて地元出身者枠の増員等を要請※		・<u>県の養成過剰数を踏まえ、</u>今後、現行の定員数について、マクロ医師需給推計を踏まえ検討
(・県内に医師が少数の二次医療圏がある場合、地域枠の増員等を要請※)			

※ 恒久定員内の地域枠等の増員等の要請については、現状の恒久定員内の設置割合を踏まえると、最大でも半数程度までと想定。これを超える地域枠等の増員等の要請については、恒久定員の枠外での対応が必要。

地域枠^{*}の導入状況(大学別一覧)

都道府県名	区分	大学名	H29 入学定員	うち地域枠募集人員 (H30臨時定員)
北海道	国立	旭川医科大学 (うち2年次編入学)	122人 10人	(12人) 72人 5人
北海道	公立	札幌医科大学	110人	(8人) 90人
青森県	国立	弘前大学 (うち2年次編入学)	132人 20人	(27人) 67人 5人
岩手県	私立	岩手医科大学	130人	(28人) 28人
宮城県	国立	東北大学	135人	(28人) 33人
宮城県	私立	東北医科薬科大学	100人	55人
秋田県	国立	秋田大学	129人	(29人) 34人
山形県	国立	山形大学	125人	(15人) 33人
福島県	公立	福島県立医科大学	130人	(45人) 77人
茨城県	国立	筑波大学	140人	(36人) 36人
栃木県	私立	獨協医科大学	120人	(10人) 20人
群馬県	国立	群馬大学 (うち2年次編入学)	123人 15人	(18人) 18人 2人
埼玉県	私立	埼玉医科大学	128人	(18人) 17人
千葉県	国立	千葉大学	122人	(15人) 20人
東京都	国立	東京医科歯科大学	106人	(4人) 4人
東京都	私立	杏林大学	117人	(12人) 12人
東京都	私立	順天堂大学	137人	(29人) 26人
東京都	私立	昭和大学	110人	12人
東京都	私立	帝京大学	120人	(9人) 14人
東京都	私立	東京医科大学	120人	(7人) 10人
東京都	私立	東京慈恵会医科大学	110人	(5人) 10人
東京都	私立	東邦大学	115人	(5人) 5人
東京都	私立	日本大学	120人	10人
東京都	私立	日本医科大学	118人	(11人) 8人
神奈川県	公立	横浜市立大学	90人	(5人) 30人
神奈川県	私立	北里大学	119人	(9人) 11人
神奈川県	私立	聖マリアンナ医科大学	115人	(5人) 5人
神奈川県	私立	東海大学	118人	(8人) 8人
新潟県	国立	新潟大学	127人	(22人) 22人
富山県	国立	富山大学	110人	(10人) 25人
石川県	国立	金沢大学	117人	(12人) 12人
石川県	私立	金沢医科大学	110人	5人
福井県	国立	福井大学	115人	(10人) 15人
山梨県	国立	山梨大学	125人	(20人) 50人
長野県	国立	信州大学	120人	(15人) 20人
岐阜県	国立	岐阜大学	110人	(25人) 30人
静岡県	国立	浜松医科大学 (うち2年次編入学)	120人 5人	(15人) 25人 5人
愛知県	国立	名古屋大学	112人	(5人) 5人
愛知県	公立	名古屋市立大学	97人	(7人) 27人
愛知県	私立	愛知医科大学	115人	(10人) 10人

※自治医科大学については3名、栃木県の地域枠設置を要件とした臨時定員あり。

都道府県名	区分	大学名	H29 入学定員	うち地域枠募集人員 (H30臨時定員)
愛知県	私立	藤田保健衛生大学	120人	(10人) 10人
三重県	国立	三重大学	125人	(20人) 35人
滋賀県	国立	滋賀医科大学 (うち2年次編入学)	117人 17人	(10人) 28人 7人
京都府	公立	京都府立医科大学	107人	(5人) 7人
大阪府	公立	大阪市立大学	95人	(5人) 15人
大阪府	私立	大阪医科大学	112人	(2人) 22人
大阪府	私立	関西医科大学	117人	(10人) 15人
大阪府	私立	近畿大学	115人	(20人) 20人
兵庫県	国立	神戸大学	117人	(10人) 10人
兵庫県	私立	兵庫医科大学	112人	(2人) 13人
奈良県	公立	奈良県立医科大学	115人	(13人) 38人
和歌山県	公立	和歌山県立医科大学	100人	(10人) 36人
鳥取県	国立	鳥取大学	110人	(25人) 32人
島根県	国立	島根大学 (うち3年次編入学)	112人 10人	(12人) 25人 3人
岡山県	国立	岡山大学	120人	(9人) 12人
岡山県	私立	川崎医科大学	126人	(16人) 36人
広島県	国立	広島大学	120人	(15人) 20人
山口県	国立	山口大学 (うち2年次編入学)	117人 10人	(15人) 33人 3人
徳島県	国立	徳島大学	114人	(12人) 17人
香川県	国立	香川大学	114人	(14人) 24人
愛媛県	国立	愛媛大学	115人	(15人) 20人
高知県	国立	高知大学	115人	(15人) 25人
福岡県	私立	久留米大学	115人	(5人) 20人
福岡県	私立	福岡大学	110人	10人
佐賀県	国立	佐賀大学	106人	(8人) 26人
長崎県	国立	長崎大学 (うち2年次編入学)	125人 5人	(19人) 34人 5人
熊本県	国立	熊本大学	115人	(10人) 10人
大分県	国立	大分大学	110人	(10人) 13人
宮崎県	国立	宮崎大学	110人	(10人) 20人
鹿児島県	国立	鹿児島大学 (うち2年次編入学)	117人 10人	(15人) 20人 3人
沖縄県	国立	琉球大学	117人	(12人) 17人
計		71大学	8,279人	(903人) 1,674人
		(うち2年次編入学)		35人
		(うち3年次編入学)		3人

注1)私立大学は入学定員でなく、募集人員を記載。

※「地域枠」とは、将来、地域医療に従事しようとする意志をもつ学生を選抜するための様々な枠の総称であり、将来、地域医療に従事することを条件とする都道府県の奨学金貸与枠と連動した選抜枠や、都道府県の奨学金貸与枠とは連動しないが、将来、地域医療に従事しようとする意思を持つ者を対象とした入学者選抜枠等という(「〇〇人程度」「〇〇人以内」を含む)。文部科学省医学教育課調べ